

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2007年11月30日

82号

NPO法人「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-3-1-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

みんな 元気で長生きしてね!

頑張ってきたのだから



いつもの道、新横浜のビル街を抜け出したところで、遠くに輝くばかりの白銀の富士があらわれました。秋らしい秋も知らぬ間に、早くも冬の足音です。

今年は、グループホームの問題にどっぷりと浸かってしまった毎日ですが、それでもやっと胸突き八丁を越えた気がします。(甘いでしょうか...) 後は、スタッフの充実と、運営費のアップ。これは「相手のあることですから...」などと張り詰めた弦を弛めつつ、人探しをはじめています。

* * *

かつて、横浜市長は「星の数ほど作業所を作りましょう」などと、ロマンティックな激励をしてくれたのですが、アレからもう20年あまりが経ちました。

とりあえず日中に通う場所がほしいと頑張って親たちも、活動ホームを作り、グループホームをと、次々と出てくる新たなる課題と取り組んでいるうちに歳を重ね、知らず知らずの無理が、健康を蝕んでいる人もいます。

障害者を子に持つ親だからといって、特別丈夫にできているわけでもありません。

どこの家庭にもある家族の問題も同じようにかかえているのです。いつまでもわが子を見守り続けられるように、丈夫で長生きしてほしいと思いますし、これからは、そうした視点での支えあいも必要なのではないかと思います。

* * *

もうそろそろ、「頑張れば助けてあげるよ」という行政の支援も、次へランクアップしていただけないものでしょうか。今度の事件は「運営費さえ充分なら、こんな事にならなかった。」という悔しさ。親も子の障害者も支援スタッフも、重度障害者であるがゆえにかみ締めた、守るべき法の前の不平等さ。当事者以外の人たちにも感じさせた、『本来ならばこんな事言いたくない』という『なんとも後味の悪い』事件でありました。ただこの試練を生かし、大変でも工夫して運営の改善に全力を挙げたいと決意しています。

様々な体験を生かして

花陽の会代表 三上 文子

年齢相応の体力・知力の低下を痛感する昨今とは言え、落ち着き無く活動してまいりましたが、半年以上以前より、精神面での弱さが露呈した中で、今更ながら幾つかの事を学びました。

何気ない一言がヤリのように突き刺さり、良かれと発してくださる言葉に耳を覆いたくなる苦痛、それらを努めて平静を装いながら、ひきつった笑顔で受け止める辛さ。詮索であったり、強い口調での叱咤激励や、果ては説教にまで発展し益々心を閉ざしてしまう現実に、自責の念にかられてしまうのです。

障害を抱える方やそのご家族は、長年、私共には計り知れないそうした思いを経験されたことでしょう。

そのような中で、雄弁にならず静かに「傾聴」、穏やかに共に時を過ごしてくださる方々に、どれほど救われたことでしょう。

逆の立場に立ったとき、果たして温かい眼差しで思いやりの心を向けられたらどうか？ 全く自信がありません。多分、山ほどの傷を多くの方々に負わせていたことでしょう。

人の和を重んじる為に、様々な体験や苦労をどう生かし、賢い生き方や真の「教養」ある言動がいかにかにできるか・・・この歳にして改めて考えさせられました。

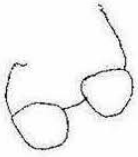
花陽の会が演奏会開催



11月23日 川崎市の国際交流センターで、「花陽の会」の演奏会が盛大にひらかれました。

「地域で生きる障害者を支える会」へもご案内いただき手づくり品などの販売をしました。また会場の皆様より募金箱にご寄付をいただきました。

めがねの声



■ ずっと見守ってほしい...

この前、港北図書館の前庭で開かれた「らくらく市」に行きました。毎年1回ひらかれるバザーです。参加する人たちは、障害者福祉の団体や、コミュニティーバスを走らせる会などの市民グループの人たちや、ふつうの学校には行きにくい人たちのための学校の人や 精神障害の人を励ます会の人や いろいろな会の人たちが集まっています。ずっと 活動ホームの送迎をして下さっている石立さんも初めからのメンバーです。

私が小さいときは、父母の会で2～3回参加して、私もキーホルダーなどを売ったりしました。親の会が忙しくなって 参加はしなくなりましたが、それからずっと「らくらく市」は続いていて 参加の団体も増えています。

毎年 行けばいろいろな人に会えるので うれしいです。今年も 母とで ぶらりとみんなに会いに行きました。

遠くから「ゆうこさ〜ん」と声がかかったり「絵を描いてる?」とか「おい 友子げんきにしてるか!俺はもう駄目だよ。がんばれよ!」などと 励ましてくれる人もいます。

* * *

まだ養護学校に通っていた頃 母と一緒に「港北イベントプランナー」の会に参加していました。聴覚障害の人がやる「ひとみ座のデフパペットシアター」の人形劇を上演する会です。私もチケットを車イスの後ろにつんで、学校の先生たちを買ってもらったりしました。

この「らくらく市」では そういう活動をしていた人も多く みんな忙しそうにしていますが 声をかけてくれます。今 お世話になっている仲間や 大好きな「かれん」の人たちに会えるのも嬉しいですが 私が小さいときから 大人になってまでの生活を ずっと知っている人がいるというのは “なんだか見守ってくれているようで いいな” と思います。

これからも グループホームと 活動ホームのデイサービスの間を 行ったり来たりするだけでなく いろいろな会にも参加したいなと思います。

それで もし 役に立つ事があるなら なおいいのだけれど....

大原 友子

* お知らせ *

グループホーム所在地、港北区新吉田町西部町会の会長が長谷川俊雄様に決まりました。今後、先日ご逝去された手塚和夫前会長に変わり、よつばホーム運営委員会の役員をおひきうけいただきます。よろしく願いいたします。

今月のよつばホーム

よつばホーム

落ち葉が風に舞う頃となり、今年もあと1ヶ月となりました。みなさまいかがおすごでしょうか。

11月3日に勢津子さんと花岡さんは新横浜の『港北の湯』へ散髪と外出に出かけました。(今回は温泉には入らず^^)

よつばホームからタクシーで約15分のところです。8月にも行ったこともあって二人とも慣れた様子で出発の準備をしています。時間通りにタクシーに乗り込んで出発♪

『港北の湯』に到着してまずヘアーサロンでカットします。そして二人ともさっぱりして、お楽しみの日食です。お昼ご飯はラーメンでした♪二人ともとても満足でした。最後に買い物してグループホームへ帰宅しました。

一方、その頃次郎さんは近所の回転寿司屋さんに食べに行っていました♪久しぶりの回転寿司なのでとても楽しそうです^^席につくなり、早速「から揚げ」「あなご天ぷら」「野菜の天ぷら」のお皿を取ります。ゞ(^o^;) オイオイ 回転寿司屋さんですが・・・。

藤田さんは退院してから1ヶ月が過ぎました。現在はデイサービスに週2日通い、グループホームに週3日泊まっています。医療機関、デイサービス、その他関係部門と連携を取り、徐々に以前のライフサイクルに戻れたらと思います。



第2よつばホーム

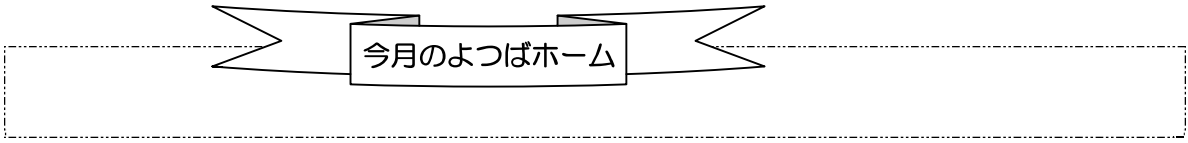
11月は第2よつばホームの女性入居者の2人が誕生日でした♪

まずは・・・11月19日富岡章子さん^^当日は月曜日だったので、グループホームでいつも通りに楽しく夕飯を食べてから、お待ちかねのケーキ!!!とってもおいしそうなケーキを見てニコニコの笑顔で写真に写っていました。

その翌週は・・・11月26日大原友子さん^^残念ながら、用事がありグループホームで迎えることは出来ませんでした。また日を改めてお祝いする予定です。



今年も速いもので、あと一ヶ月。体調に気をつけて元気に終わりたいと思っています。



今月のよつばホーム